

## 入院患者の嚥下スクリーニング

～目的について～

耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
 鮫島靖浩

2015.3.11 第6回「嚥下障害センター」ミーティング

### 入院患者の実態調査「嚥下障害チェック表作成」の提案

✓ 入院患者の誤嚥を防止することによって誤嚥性肺炎を予防し、  
 不要な食止め(経口摂取禁止)を回避するために

✓ 各診療科入院患者の中で、実際に嚥下障害を有する患者が  
 どの程度存在するのか調査する。

スクリーニング法の開発

✓ 嚥下障害を有する患者の病態を評価し予防的リハを行う。

看護部とリハビリテーション部の参加・協力を促す。

✓ 新基準の嚥下調整食を平成27年4月から実施。

## スクリーニング法の開発

### 案1 入院時病棟看護師がチェック

- ① 食事時のムセの有無
- ② 構音(ハ、タ、カ)のチェック(言えない)
- ③ 肺炎既往の有無(2回以上の既往あり)
- ④ 反復唾液飲みテスト(一口の水を飲んだあと、30秒間に  
 何回唾液を飲めるか、2回以下)

### 案2 入院時に質問紙に記載してもらう A:重い症状、B:軽い症状、C:症状なし (ひとつでも)

1. 肺炎と診断されたことがありますか？
2. やせてきましたか？
3. 物が飲み込みにくいと感ることがありますか？
4. 食事中にむせることがありますか？
5. お茶を飲むときにむせることがありますか？
6. 食事中や食後、それ以外の時にものがゴロゴロすることがありますか？
7. のどに食べ物が残る感じがすることがありますか？
8. 食べるのが遅くなりましたか？
10. 口から食べ物がかぼれることがありますか？
11. 口の中に食べ物が残ることがありますか？
12. 食物や酸っぱい液が胃からのどに戻ってくることがありますか？
13. 胸に食べ物が残ったり、つまった感じがすることがありますか？
14. 夜、咳で寝られなかったり目覚めることがありますか？
15. 声がかすれてきましたか(がらがら声、かすれ声など)？